

報告

生協総合研究所
2017年度公開研究会

「これからの家計簿」に参加しました！

7月7日に主婦会館プラザエフにて開催され、当研究会メンバーが参加しました。

★生協総合研究所 宮崎達郎 氏

【大学の教育費】

- ・乳幼児から大学生等のいる821世帯で集計すると、教育費が最も大きな支出に。特に大学生がいる世帯では「可処分所得に占める教育費の割合が4割以上」が21%にもなっている反面、教育費50万円未満の世帯が増加している。

【収入と支出の変化】

- ・世帯主40代の収入は、1996年から徐々に、夫は下がり、妻は上がっている。
- ・食費では米・魚貝・果物離れが進んでいる。
- ・住宅ローンの負担は、年収400万円未満の世帯が最も大きく、可処分所得の23.2%（月53,415円）にもなっている。

★東京家政学院大学 上村協子 教授

- ・大学における金融教育のとりくみや、生協の家計簿による生活改善・社会運動に注目した御船美智子氏の紹介など。
- ・家計簿モニターの「声」や、同一世帯で20年以上の家計簿記録は地域分析の上でも大変貴重な資料となっている。

★コープデリ連合会 インターネット事業部 高橋佑 氏

【コープみらいで開発した「ほべたんポータルアプリ」について】

- ・「冷蔵庫チェッカー」の便利な機能
 - ①コープで購入した食材が登録され、食べ終わったら手入力でリストから削除して管理できる。
 - ②消費（賞味）期限が表示される。（絵文字でも確認できる）
 - ③お店のレシートを撮影して登録できる。
 - ④ほべたんポータルアプリから注文できる。…など
- ・「かんたん家計簿」の機能
 - ①当月の収支と日別の支出が確認できる。
支出・収入先で項目名が表示され、項目ごとに削除や編集ができる。
 - ②支出に20のカテゴリがあり、グラフ画面も充実している。
 - ③便利なレシピ検索機能つき。…など



★日本生協連 政策企画部 三谷和央 氏

- ・2017年12月で終了する「全国生計費調査」に変わり、2018年1月から日本生協連が独自で行う「家計・暮らしの調査」を開始する。
- ・これまでの「家計ドットこ〜ぷ」は終了し、新規の調査サイトを構築する。
- ・目標1,500名のモニターを確保し、12ヶ月連続提出者1,000名を目指す。（ユーコープの組合員向けには、ぷらす mio や、HPなどで詳細をお知らせします。）